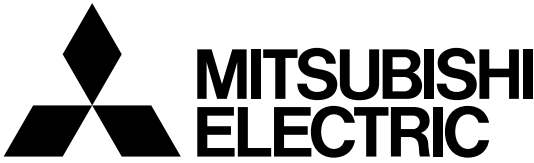




2202876H92301



# 三菱 エアースイングファン高天井・吹抜用 システム部材

## リモコンスイッチ

### 形名

# FS-02ASRA<sub>3</sub>

## 据付工事説明書

### 販売店・工事店様用

このリモコンは、エアースイングファン高天井・吹抜用に接続し、エアースイングファンの運転・停止や風速制御、首振運転・停止を行うものです。





- 据付工事を始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。  
また、エアースイングファン本体取扱説明書（据付工事説明書付）と併用して施工してください。
- 据付工事は販売店・工事店様が実施してください。（お客様自身で工事しないでください）
- 据付けは市販のJIS C 8340の1個用スイッチボックスを使用するか、壁に直接据付けてください。  
また、信号線には無極性2線シース付0.3mm<sup>2</sup>ケーブル、電線管には薄鋼電線管(JIS C 8305)呼び径15~25、電線管に合うロックナット、プッシング(JIS C 8330)が必要です。







別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの据付工事説明書と共に、お客様に必ずお渡しして、使用方法を説明してください。

- お使いになる方は、取扱説明書とともに、この据付工事説明書を大切に保管してください。移設・修理のときは工事される方に、また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

### 1 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 分解禁止	改造、修理は絶対しない 改造したり、修理に不備があると感電・火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。	 指示に従い必ず行う	配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。
 禁止	お客様自身で移設はしない 据付工事に不備があると感電・火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。		据付けは、販売店または専門業者に依頼する お客様自身で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります。
	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ据付けない 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火・爆発の原因になることがあります。		電気工事は必ず有資格者である電気工士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因になります。
			据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に 据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。

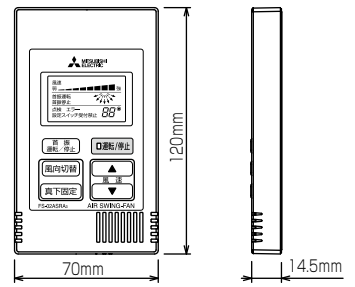
 <b>注意</b>		誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	ボタンを先のとがったもので押さない 感電の原因になります。 AC100VやAC200Vは絶対に印加しない リモコンへの印加電圧は最大でDC12Vです 発火、火災の原因になります。	 指示に従い必ず行う	据付けは、十分耐えるところに確実に 強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室・厨房など水がかかるところ、大量の湯気が発生するところには据付けない 壁が結露するような場所にも据付けない 感電の原因になります。		病院、通信事業所などに据付ける場合は、ノイズに対する備えを十分に行う インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。
 めれ手禁止	濡れた手でボタンを操作しない 感電の原因になります。		配線は張力がかからないように配線工事を行う 断線したり、発熱、火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	本機を水洗いしない 感電の原因になります。		信号線引込口をパテで確実にシールする 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入により、感電の原因になります。
			配線は電流容量に合った、規格品の電線を使用すること 漏電や発熱、火災の原因になります。
			据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。

## 2 同梱部品

箱の中には次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. リモコン (上ケース、下ケース) ..... 1個
2. なべ小ねじ M4×30 ..... 2本
3. 木ねじ 4.1×16 (壁に直接据付けるとき使用) ..... 2本
4. 取扱説明書 ..... 1冊
5. 据付工事説明書 (本書) ..... 1冊
6. 修理窓口・ご相談窓口のご案内 ..... 1冊

## ■外形図



## 3 据付方法

### 1. リモコン (スイッチボックス) の据付位置を決める。

ただし、下記の事項を必ず守ってください。

- (1) スwitchボックス、壁のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保する。  
(スペースが不足すると、リモコンをはずしにくくなります)
- (2) 下記の部品は現地にて調達する。

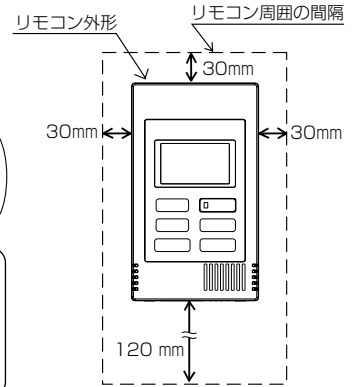
- ・ 1個用スイッチボックス (JIS C8340)
- ・ 薄鋼電線管 (JIS C8305) 呼び径15~25
- ・ ロックナット、ブッシング (JIS C8330)
- ・ モール (JIS C8425)
- ・ 信号線 (無極性2線シース付0.3mm<sup>2</sup>ケーブル)
- ・ パテ

#### 据付場所についてのお願い

- 据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けしないでください。
  - ・ 屋外 ・ 直射日光のあたる場所 ・ 0℃以下もしくは40℃以上になる場所
  - ・ 常温で相対湿度90%を超える場所 ・ 酸性、アルカリ性ガスの発生、流入する場所
  - ・ 油煙、蒸気、硫化ガスの多い場所

#### 工事上のお願い

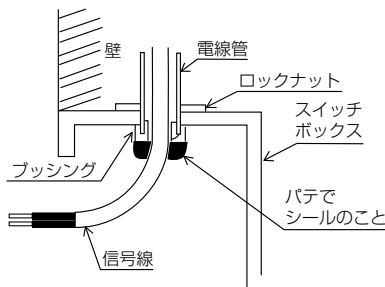
- 指定を超える太さの信号線を端子台に接続しないでください。(破損のおそれがあります)
- 電線管の中には他の電線を一緒に入れないでください。(通信異常の原因になります)
- 複数の信号線を多芯ケーブルで配線しないでください。(通信異常の原因になります)
- 信号線の総延長は300m以内としてください。(通信異常の原因になります)



### 2. 露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のため信号線引込口をパテで確実にシールする。

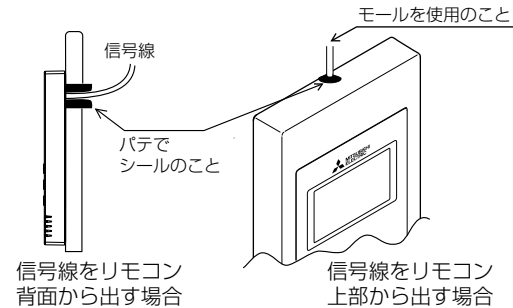
#### スイッチボックスを使用する場合

- ・ スwitchボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールする。

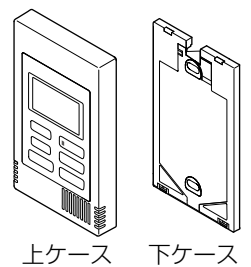


#### 壁に直接据付ける場合

- ・ 壁に穴を開け信号線を通す場合その穴をパテでシールする。
- ・ 上ケースの切り取った部分より信号線を通す場合は上ケースの切り取った部分を同様にシールする。
- ・ 信号線を壁面で引き回す場合はモールを使用する。

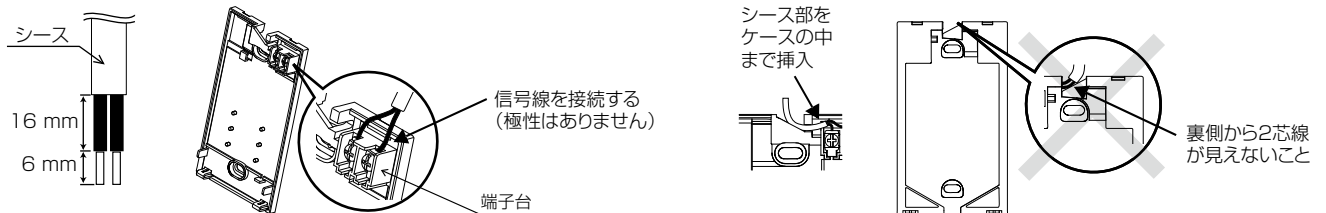


### 3. リモコンのケースをはずす。



### 4. 信号線を下ケースの端子台に接続する。

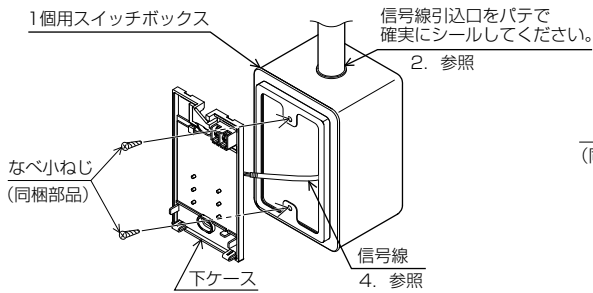
信号線を下図のように加工し、信号線のシースをむきとった部分が背面から見えなくなるようにシース部を下ケースの中まで挿入し、下ケースの端子台に接続してください。



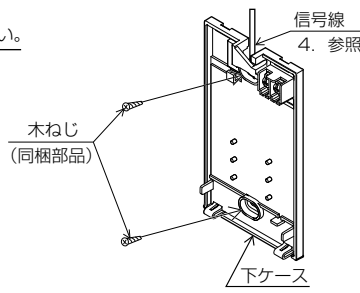
- お願い**
- ・ リモコン端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因やケースと接触し、ケース破損の原因になります。
  - ・ 信号線の切屑などがリモコン内部に入らないようにしてください。感電・故障の原因になります。

## 5. 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付ける。

### スイッチボックスを使用する場合



### 壁に直接据付ける場合

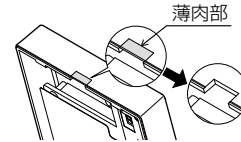


- お願い**
- ・ねじを締め過ぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。
  - ・据付面は平らな所をお選びください。
  - ・スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2か所を固定してください。
  - ・再度、壁へ据付けの際は、モリーアンカーなどを使用し、確実に固定してください。

## 6. 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線穴（露出配線の場合）

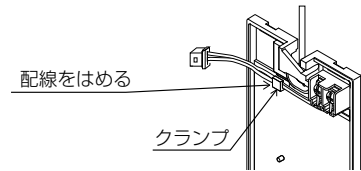
- ・上ケースの内側薄肉部（右図）をナイフ・ニッパーなどで切り取る。
- ・端子台に接続した信号線をこの部分から出す。

- お願い**
- ・信号線を傷付けないようにエッジ処理を施してください。



### ※配線がクランプからはずれている場合

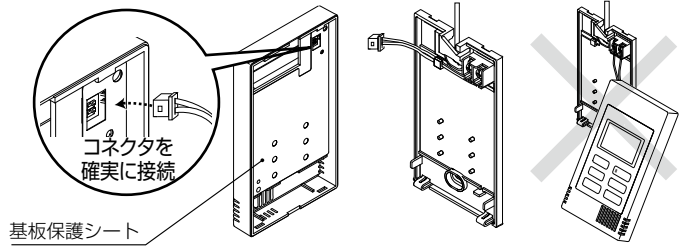
- ・上ケースに接続する前に配線をクランプにはめて固定してください。
- ・固定していない場合、端子台に直接力が加わり、配線が切れるおそれがあります。
- ・上ケースがはまらないおそれがあります。



## 7. 上ケースに配線する

下ケースのコネクタを上ケースのコネクタに接続します。

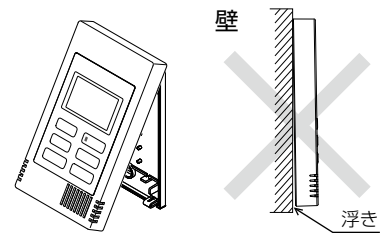
- お願い**
- ・上ケースから基板保護シートと基板は、取りはずさないでください。故障のおそれがあります。
  - ・コネクタ接続後、右図のように上ケースをぶら下げないでください。配線が切れるおそれがあります。



## 8. リモコンの上ケースをはめ込む

上ケースの上部にツメが2か所あります。このツメを下ケースに引っ掛けて、“パチン”と音がするまではめ込んでください。ケースに浮きがないことを確認してください。

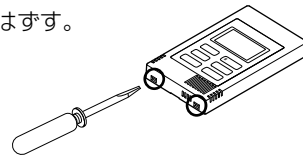
- お願い**
- ・リード線をかみ込まないように上ケースをはめ込んでください。
  - ・“パチン”と音がするまではめ込んでください。確実にハマっていない場合、落下するおそれがあります。



### ※リモコンの上ケースのはずしかた

- ・マイナスドライバーをツメ部にはめ込み、ツメをはずし上ケースを取りはずす。

- お願い**
- ・ケースに傷がつかないようにはずしてください。
  - ・ドライバーをツメ部にはめ込んだ状態で回転させないでください。ツメやケースの破損の原因になります。



## 4 試運転

エースイングファンとリモコンを接続し、次ページの「■試運転操作項目」にしたがって試運転を行ってください。

接続方法に関してはエースイングファンの取扱説明書（据付工事説明書付）を参照ください。

リモコンは通電すると「HO」点滅（約10秒）後、運転停止状態になります。「■試運転操作項目」の要領で各ボタンを押して正常に運転するか確認してください。バックライトが消えているときは、最初のボタン操作でバックライトを点灯します。操作内容は受け付けません。（運転／停止ボタンは除く）

※操作部、表示部の名称は取扱説明書をご参照ください。

- メモ**
- ・リモコンを接続するエースイングファンは、エースイングファン本体基板上のリモコン電源SW をON に切替えて、リモコンに給電する必要があります。（複数台のエースイングファンを同時に操作する場合は、リモコン接続したエースイングファンのみリモコン電源SW をON にしてください）
  - ・複数台設置において、エースイングファン本体基板で本体ごとに、最大風速設定と首振停止が設定できます。エースイングファン本体で首振停止を設定しますと、リモコンからの首振指示では首振動作をしません。

## ■ 試運転操作項目

操作項目	操作部	表示部	手順
1. 通電	—		エースイングファンに電源を供給します (「HO」が約10秒点滅)
2. 運転開始			「運転/停止」ボタンを押す (運転ランプ点灯) ※前回停止前に設定された風速・首振動作状態で運転を開始します
3. 首振運転			「首振 運転/停止」ボタンを押す (首振運転では矢印がスイング動作します) ※本体の首振状態と矢印の点灯状態は一致しません
4. 首振停止			「首振 運転/停止」ボタンを押し、首振運転を停止させる (風向位置が表示されます) ※エースイングファン本体の風向がリモコンの「↓」と一致するまでには多少時間がかかります
5. 風向切替 (首振停止時)			1. 「首振 運転/停止」ボタンを押し、首振運転を停止させる (風向位置が表示されます) 2. 「風向切替」ボタンを押し、「↓」を移動させる
6. 真下固定			「真下固定」ボタンを押す (風向が「↓」となります) ※ボタン1回の操作により、風向真下固定が可能 ※エースイングファン本体の風向がリモコンの「↓」と一致するまでには多少時間がかかります
7. 風速制御			「風速 ▲ ▼」ボタンを押す (▲を押すと風速が増えます) (▼を押すと風速が減ります) ※3段階(強・中・弱)に制御可能
8. 運転停止			「運転/停止」ボタンを押す (運転ランプ消灯、液晶表示は通電表示●のみ点灯)

## ■ リモコン表示とエースイングファン本体の風向について

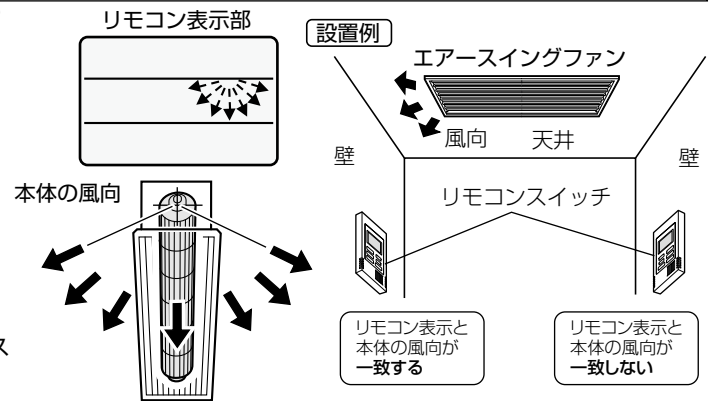
首振停止時は、リモコン表示部の矢印「↓」がエースイングファン本体の風向を表します。

リモコンや本体の据付位置によっては、リモコン表示部の矢印「↓」と本体の風向が一致しない(逆向きとなる)場合があります。(右図参照)  
一致しない場合は、下記の手順で表示の切替え(反転)ができます。

1. 「運転/停止」スイッチで本体を停止する
2. と を同時に3秒以上押す (例
3. 表示が切替わる

### メモ

- 複数台のエースイングファンを同一方向に風向切替する場合は、エースイングファンの電源線穴位置が同じ向きになるように据付けてください。



## ■ リモコン表示部の点検ナンバーについて 表示部に下記の点検ナンバーが点滅したら下表を参照して処置してください。

点検ナンバー	原因	処置
09	エースイングファン本体基板上の試運転スイッチが「ON」になっている	電源を切って試運転スイッチを「OFF」にする ※試運転スイッチの詳細は、エースイングファン本体の取扱説明書(据付工事説明書付)を参照ください
10	エースイングファンに異電圧が印加された	送風しないエースイングファンの電源を確認し、正常の電源(100V)を入れ直す ※誤って200Vが接続されたエースイングファンは、回路保護機能が働き、ファン停止となります
11	エースイングファンの首振位置検出センサー部にほこりが付いた	電源を切ってお買上げの販売店にお申し付けください

# 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号